

株式会社 群馬銀行

2024年3月期 第1四半期

スモールミーティング

2023年8月3日 常務取締役 内堀 剛夫



群馬銀行

(東証プライム : 8334)

～私たちは「つなぐ」力で地域の未来をつむぎます～

2022年 中期経営計画
Innovation for “Purpose”



損益状況

- 当第1四半期の連結最終利益は90億円。前年同期比+4億円、年間計画に対する進捗率は32.2%。
- 資金利益は、国内貸出金利息が増加に転じたものの、国際部門の調達費用増加を主因に前年同期比▲9億円。
- 非金利業務利益は64億円と前年同水準（上期計画進捗率54.7%）。

預貸金、有価証券の状況

- 貸出金はクロスボーダー・ストラクチャードファイナンスが順調。中小企業は年率改善に向けて新たに導入するグリーンローン、ソーシャルローンの推進など取組み強化。アパートローン金利は上昇基調。
- 貸出金のRORAは前年同期と比較し順調に推移。適切なリスクテイクと取引先ごとの採算改善を進めるなど、RORA向上の取組みを継続し、ROEの向上を図る。
- 有価証券は金利リスクを勘案し、超長期国債（残存15年超の銘柄）の売却を実施。有価証券評価損益は前期末比200億円増加し、134億円の評価益計上。

経費、与信費用の状況

- 経費は前年同期比5億円削減し計画水準。OHRは前年同期比0.2ポイント改善し52.1%。
- 与信費用は計画比大幅抑制（連結では戻入益計上、単体では前年同期比5億円減少の1億円）。

グループ会社の取組み

- ぐんぎんコンサルティング(株)の取組み
 - ・ 地域商社事業として、23年7月に購入型クラウドファンディングサイト「TSUNAGU+」（つなぐプラス）を開設。
 - ・ 23年4月から当行無担保ローンのWEB広告出稿などデジタルマーケティング・広告業務を受託。

損益状況

連結

(単位:億円)	第1Q			年間計画 24/3期
	23/6期	前年 同期比	計画 進捗率	
コア業務粗利益	250	▲ 9	27.3%	915
資金利益	186	▲ 9	26.8%	694
非金利業務利益	64	▲ 0	29.1%	220
経費	130	▲ 5	24.5%	531
OHR	52.1%	▲0.2%	-	58.0%
コア業務純益	119	▲ 4	31.3%	383
投信解約損益除き	121	▲ 0	31.6%	383
与信費用	▲ 0	▲ 7	-	29
経常利益	125	6	31.4%	400
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	90	4	32.2%	280

第1四半期決算のポイント

- ・ 資金利益は、国内の貸出金利息が残高要因により増加に転じたものの、国際部門の調達費用増加を主因に前年同期比▲9億円。
- ・ 非金利業務利益は、昨年好調であった為替デリバティブ（法人役務）が減少したものの前年同期水準を維持。
- ・ 経費は、人員構成変化等による人件費の減少や営業店端末等のソフトウェア償却（物件費）の減少等により前年同期比5億円の削減。
- ・ 有価証券は国債の金利リスクを削減。前年同期比+2億円の2億円。
※ 国債等債券損益▲97億円（超長期国債の売却）
株式等売却損益+99億円（うち純投資68億円・政策投資30億円）
- ・ 与信費用は年間計画29億円に対して大幅に抑制。
- ・ 最終利益の年間計画に対する進捗率は32%と順調に推移。

単体

(単位:億円)	第1Q			年間計画 24/3期
	23/6期	前年 同期比	計画 進捗率	
コア業務粗利益	235	▲ 8	27.6	852
資金利益	187	▲ 9	26.8	697
うち貸出金利息	165	28	24.9	661
うち投信解約損益	▲ 1	▲ 3	-	-
非金利業務利益	48	1	31.1	155
役務取引等利益	42	5	31.0	137
その他業務利益	5	▲ 4	33.8	17
経費	125	▲ 5	24.5	512
コア業務純益	109	▲ 2	32.2	340
投信解約損益除き	110	0	32.6	340
実質業務純益	12	▲ 10	4.7	264
有価証券関係損益	2	2	7.2	34
与信費用	1	▲ 5	5.7	25
その他	1	0	16.9	10
経常利益	112	5	31.2	360
四半期（当期）純利益	81	3	32.5	250

単体貸出金利息 (前年同期比分析)

	国内部門	国際部門	計
残高要因	4	3	7
利鞘要因	▲ 2	23	21
	2	26	28

預貸金の状況

● 貸出金残高は、クロスボーダー、ストラクチャード・ファイナンス等が順調。アパートローン金利は上昇基調。

預金等の内訳

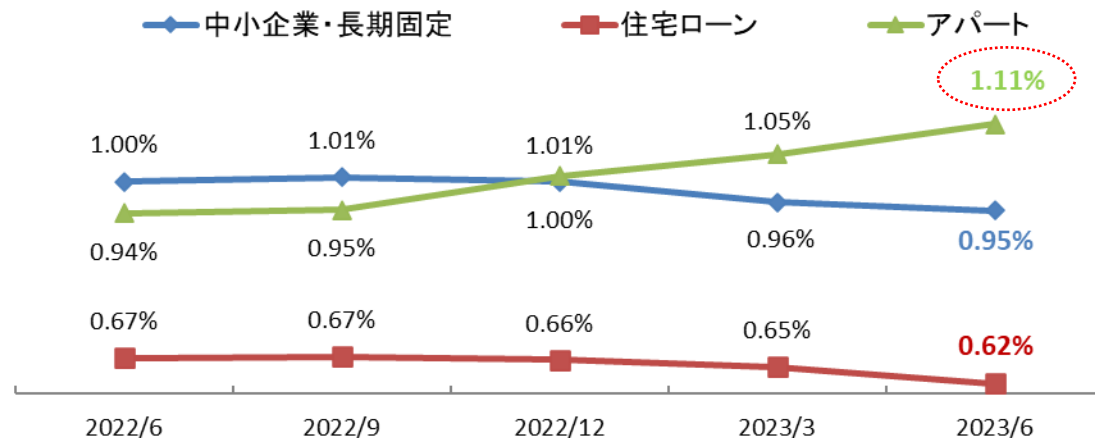
	23/6末	23/3期比較		22/6期比較	
		比較	増減率	比較	増減率
預金等	83,904	1,063	1.2	1,377	1.7
預金	81,506	968	1.2	1,808	2.3
うち個人預金	56,689	741	1.3	783	1.4
うち法人預金	19,900	567	2.9	541	2.8
譲渡性預金	2,397	94	4.1	▲ 431	▲ 15.3

貸出金の内訳

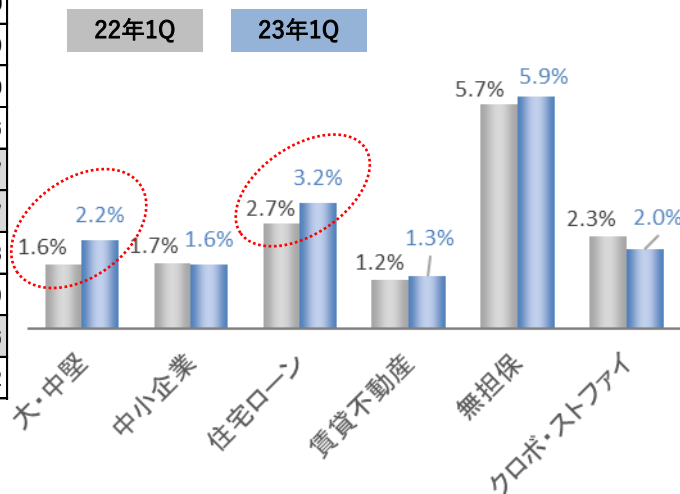
	23/6末	23/3期比較		22/6期比較	
		比較	増減率	比較	増減率
貸出金	60,957	460	0.7	2,686	4.6
リテール	46,721	▲ 171	▲ 0.3	448	0.9
中小企業	22,928	▲ 226	▲ 0.9	67	0.2
個人	23,792	55	0.2	381	1.6
うち住宅ローン	13,870	54	0.3	271	2.0
うちアパートローン	6,625	24	0.3	124	1.9
うち無担保ローン	654	24	3.9	70	12.0
その他	12,282	506	4.2	2,097	20.6
クロスボーダー	1,384	171	14.1	414	42.7
ストラクチャード・ファイナンス	814	167	25.9	450	123.7
国内大・中堅企業	8,605	31	0.3	947	12.3
その他(*)	1,477	135	10.0	285	23.9
海外店	870	114	15.1	224	34.6
公共	1,083	11	1.1	▲ 84	▲ 7.2

※ 地方公社、東京・大阪支店勘定はその他(*)に区分。

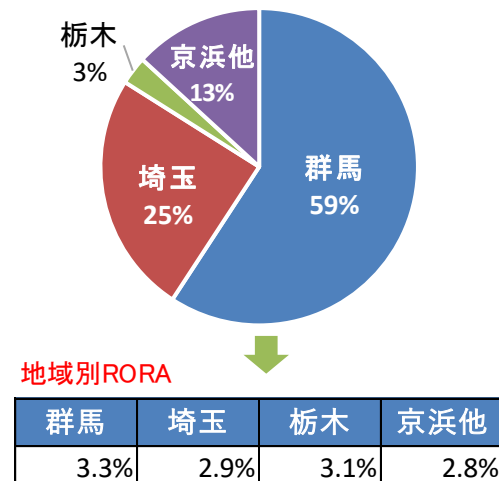
新規実行金利の推移



貸出金RORA



住宅ローン地域別実行割合



非金利業務利益の状況

連結非金利業務利益

(単位:億円)

	第1Q			上期計画 23/9期
	23/6期	前年 同期比	上期計画 進捗率	
連結非金利業務利益	64.2	▲ 0.0	54.7	117.2
法人役務収入	10.2	▲ 5.0	30.7	33.2
シンジケートローン	1.9	0.5	40.6	4.7
ストラクチャー付コベナンツ融資	1.0	0.3	28.5	3.6
ビジネスマッチング	1.2	0.3	38.9	3.1
ぐんぎん証券 (法人向け)	0.1	▲ 0.3	31.3	0.5
M&A	0.4	0.2	10.3	3.9
私募債	0.3	0.1	21.1	1.4
デリバティブ (金利・為替)	2.3	▲ 8.4	31.2	7.3
ぐんぎんコンサル	0.5	0.3	31.0	1.6
販売用不動産融資	1.5	1.5	41.7	3.6
その他	0.7	0.2	25.5	3.0
預かり金融資産等収入	16.7	0.1	47.8	35.0
投信取扱手数料	4.8	0.0	37.2	13.1
保険販売手数料 (個人)	6.3	1.5	50.4	12.6
ぐんぎん証券 (個人向け)	4.7	▲ 1.5	59.7	7.9
遺言信託・遺産整理手数料他	0.7	0.1	56.0	1.2
その他	37.2	4.8	75.9	49.0
団信配当金	18.5	2.0	111.8	16.5
基盤役務 (内国為替、代理事務等)	19.9	0.0	51.6	38.7
ローン保証料等	▲ 16.5	▲ 0.7	50.6	▲ 32.7
ぐんぎんリース	6.3	▲ 0.2	47.3	13.3
群馬信用保証	3.9	▲ 0.1	47.3	8.2
その他、連結調整	5.0	3.9	104.1	4.8

法人役務

- 「つなぐプロセス」を起点としたニーズキャッチ、PDCAツールの活用。コンサルティング推進班の積極関与。
- 約300社のSDGs取組み支援サービス利用先を起点とした脱炭素ソリューションの提案強化。
- アライアンス行との連携による協調案件、M&A、マッチング等の取組み強化。

預かり金融資産

- 推進体制の抜本的な見直し検討 (人員の集約、ローカウンターテラーの渉外化等)。顧客セグメント策の遂行。
- 口座新規先や未稼働先を対象とした効果的なNISA推進策の展開。
- 『ぐんぎんアプリ』を活用した資産形成層へのアプローチ (23年9月から投資信託取扱い開始)
- 相続業務フロント人員の強化による成約件数の増大。

預かり金融資産 (当行+ぐんぎん証券)

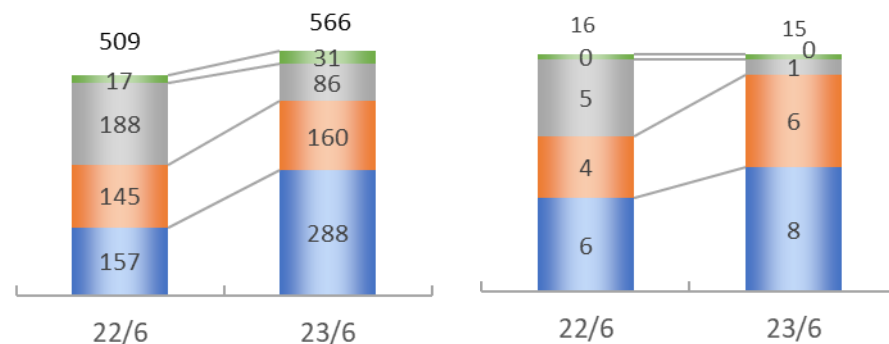
(単位:億円)

販売額

手数料

■ 投資信託 ■ 生命保険
■ 債券 ■ 株式

■ 投資信託 ■ 生命保険
■ 債券 ■ 株式

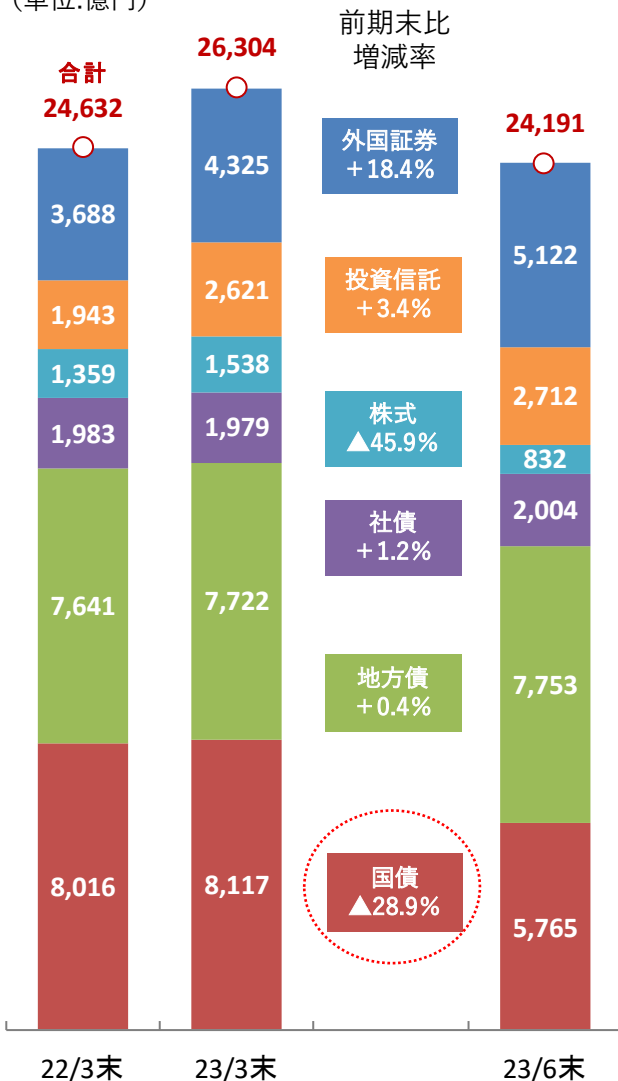


有価証券の状況

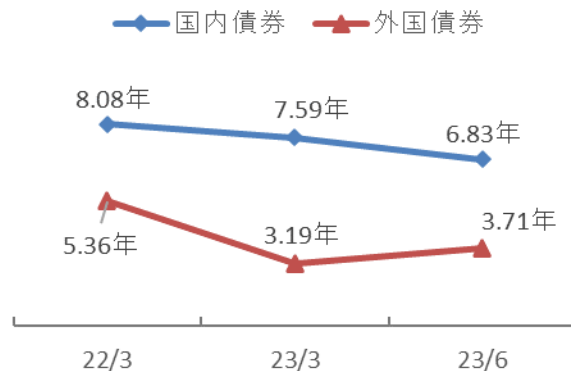
● 超長期国債の売却を進め、株式売却益を円債の売却損に充当。評価損益は前期末比200億円増加して評価益へ。

有価証券残高（簿価ベース）

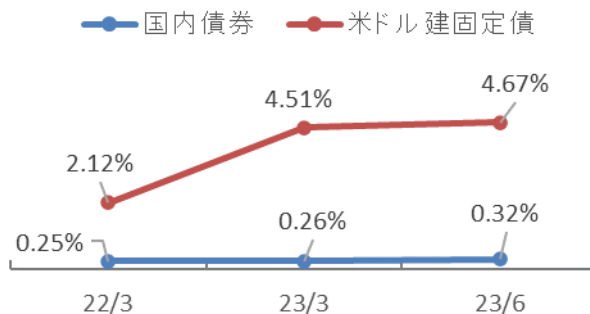
(単位:億円)



デュレーション



債券利回り



関係損益

(単位:億円)

	22/6期	23/6期	前年同期比
その他有価証券①	0	2	2
債券関係損益	▲ 89	▲ 97	▲ 7
うち債券売却損(▲)	▲ 89	▲ 106	▲ 17
株式等関係損益	89	99	10
株式等売却損益	90	99	8
政策投資	-	30	30
純投資	90	68	▲ 21
株式等償却(▲)	1	-	▲ 1
投信解約損益②	2	▲ 1	▲ 3
合計(①+②)	2	1	▲ 0

評価損益

(単位:億円)

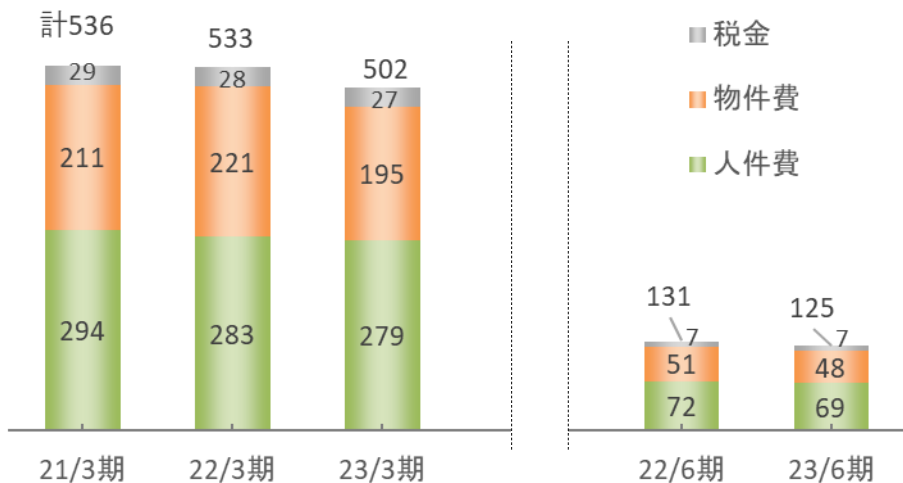
	23/3末	23/6末	前期比
その他有価証券	▲ 66	134	200
国内債券除き	281	329	48
外国証券	▲ 4	▲ 34	▲ 29
うち米ドル固定債	▲ 24	▲ 69	▲ 44
投資信託他	▲ 259	▲ 279	▲ 19
株式	545	642	97
政策投資	562	634	71
純投資	▲ 17	8	25
国内債券	▲ 347	▲ 195	152
うち国債	▲ 278	▲ 151	126

経費・与信費用の状況

● 経費は人員構成変化等の人件費の減少等で前年同期比▲5億円、OHRは0.2ポイント改善。与信費用は低水準。

経費（単体）の内訳

(単位：億円)



与信費用（単体）の内訳

(単位：億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	23/6期 1Q
与信費用	210	73	10	1
一般貸倒引当金純繰入額	145	▲ 15	▲ 18	▲ 6
実積率変動	▲ 6	▲ 3	▲ 8	-
DCF	140	▲ 9	▲ 7	▲ 4
その他	11	▲ 2	▲ 3	▲ 2
不良債権処理額	64	89	29	7
ランクダウン	89	120	72	23
回収・ランクアップ等	▲ 23	▲ 38	▲ 45	▲ 16
その他	▲ 2	7	2	0
償却債権取立益 (▲)	0	0	0	0

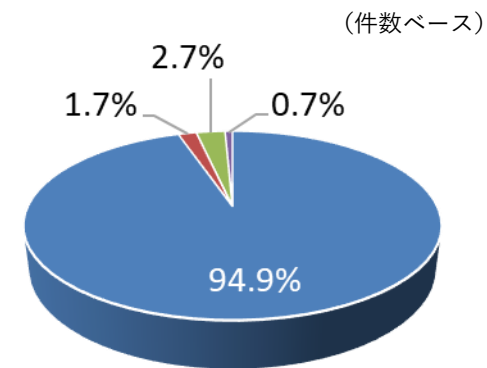
経費	23/6期 1Q		主な増減要因 (億円)
	22/6期比		
経費	125	▲ 5	
人件費	69	▲ 2	給料▲1.1、賞与▲1.9、臨時雇用費▲0.4
物件費	48	▲ 2	動産不動産償却▲2.1、外注費▲0.3
税金	7	▲ 0	印紙税▲0.2、消費税▲0.2、 外形標準課税 + 0.4

ゼロゼロ融資の状況

23年3月末の残高1,870億円のうち、件数ベースで約7割残高ベースで約8割の返済が開始。

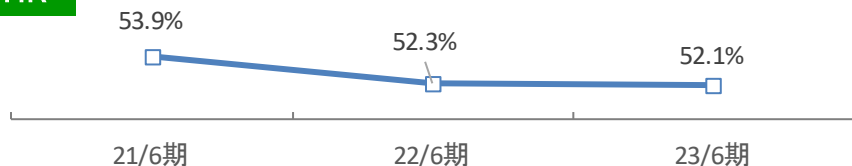


当初約定どおりの返済となっている貸出金が全体の95%。
足元では、与信費用増加の予兆は表れていない。



■ 当初約定どおり ■ 条件変更対応
■ 完済 ■ 代位弁済

連結OHR



グループ会社の取組み

For "Purpose"

グループ一体で既存の事業領域にとどまらない価値を提供し、地域の未来に貢献していく

ぐんぎんコンサルティング(株)の新事業

● 地域商社

23年7月に購入型クラウドファンディングサイト「TSUNAGU+」(つなぐプラス)を開設。

- ▷ 県内主要産業を中心に取引先企業の販路拡大・認知向上や新商品のテストマーケティングの他、企業や地域、観光地等のファンづくりに活用。
- ▷ 「TSUNAGU+」に掲載した新たな地元の商材を中心に、常設販売の場としてECサイトを運営。行員向け斡旋商品や株主優待品などからも取扱商材拡大。



● マーケティング・広告事業

- ▷ 銀行向け (23年4月～)
外部委託している無担保ローン等のデジタルマーケティング業務を当社で受託。ノウハウ蓄積を図るとともに、グループ内の連携により関連商品の収益拡大に貢献。
- ▷ 取引先向け (23年10月～予定)
自社プラットフォーム運営によるマーケティング支援に加え、個社別のデジタルマーケティング・広告のサポートを展開し、取引先のトップライン向上やデジタル化を支援。

デジタル広告作成・配信・データ分析
= サイト、動画、SNS/ネット広告作成・配信～実績レポート～改善提案

デジタルマーケティング (ブランディング・プロモーション・広告) 等
= サイト構築・改善、動画作成・活用、SNS/ネット広告活用 支援

ぐんぎんリース(株)

● 「ESGリース促進事業」の取組み

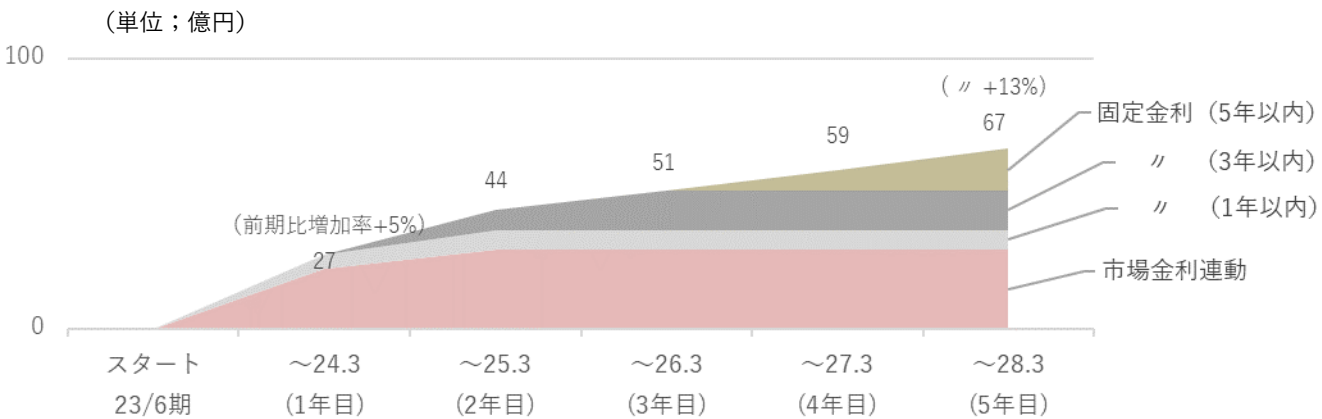
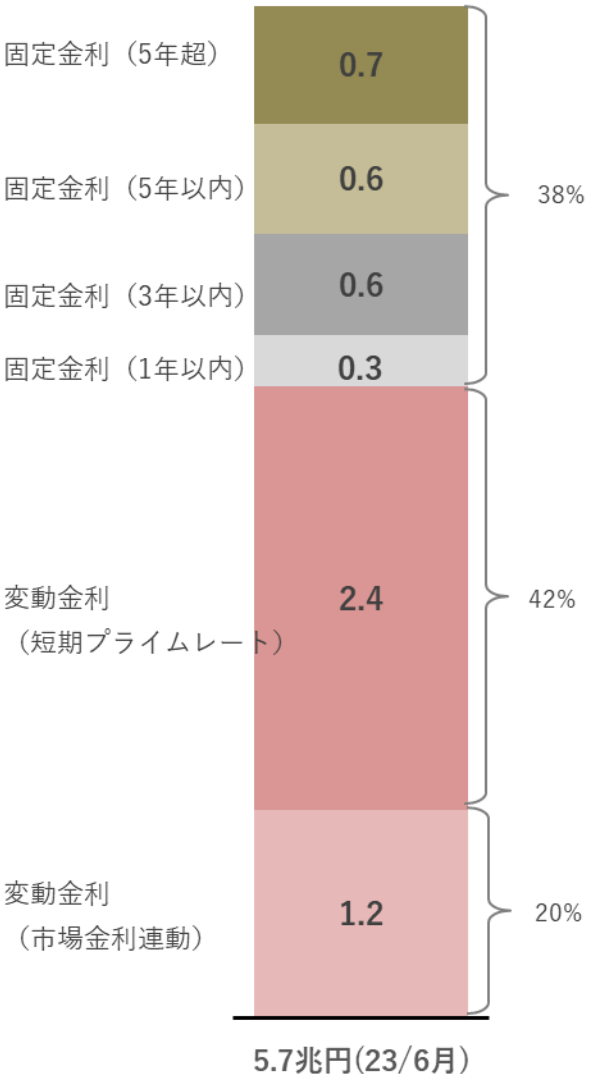
- ▷ 脱炭素機器のリース料低減を通じた中小企業等の脱炭素化に向けた取組みが評価され、環境省よりESGリース促進事業「優良取組認定事業者」の認定を受ける(令和5年度は118指定リース事業者のうち11事業者が認定を受けている)。
- ▷ お客さまが一定の基準を満たす脱炭素機器を当社リースで導入した場合、総リース料の1～4%相当の補助金が国から交付される仕組み。



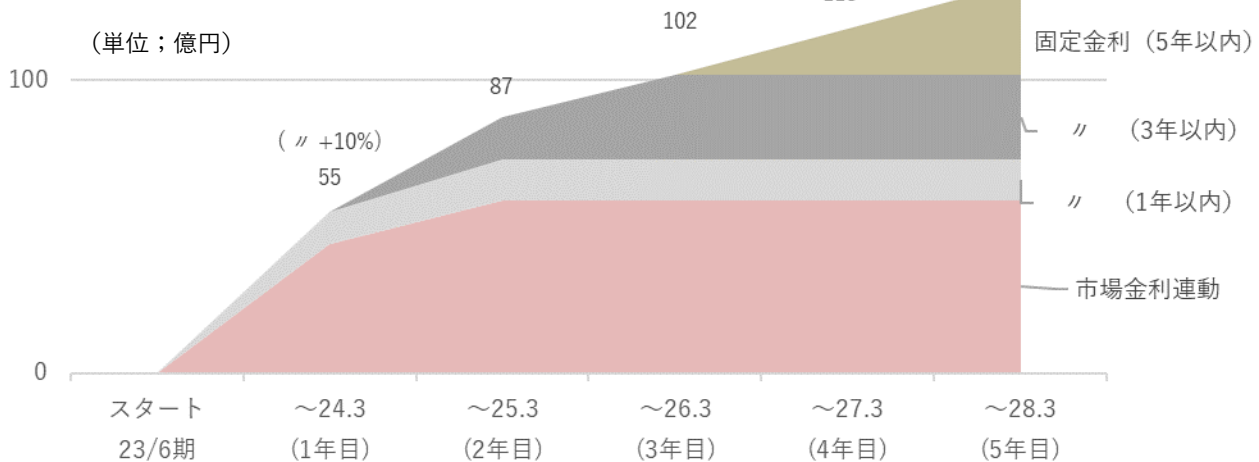
金利感応度分析 (円貨 貸出金)

【円貨貸出金】
現在のポートフォリオ

前提Ⅰ：+25bp(市場金利)



前提Ⅱ：+50bp(市場金利)



(ご参考) 中期経営計画の進捗状況

● パーパスの実現につながる3年間の主要計数として「つなぐKPI」を設定。

つなぐKPI

	中計目標 (3年間)	累計実績 (1年3ヵ月)	期初計画 (年間)	今期実績 (3ヵ月)	年間 進捗率
貸し手と借り手を「つなぐ」					
①サステナブルファイナンス実行額	5,000億円	3,224億円	1,990億円	562億円	28.2%
うち環境分野	3,000億円	1,320億円	920億円	160億円	17.4%
②住宅ローン実行額	4,000億円	1,401億円	1,350億円	266億円	19.7%
③無担保消費者ローン残高	750億円	654億円	680億円	654億円	-
お客さまを「つなぐ」					
④ビジネスマッチング成約件数	3,000件	1,202件	1,000件	202件	20.2%
企業と人を「つなぐ」					
⑤人材紹介成約件数	200件	107件	90件	25件	27.8%
お客さまの未来に資産を「つなぐ」					
⑥連結預かり金融資産残高	12,500億円	11,094億円	11,820億円	11,094億円	-
⑦うち投資信託残高	4,000億円	3,335億円	3,700億円	3,335億円	-
次世代へ「つなぐ」					
⑧事業承継課題解決件数	600件	367件	185件	37件	20.0%
⑨相続関連業務成約件数	1,000件	357件	320件	59件	18.4%

※中計目標のうち①、②、④、⑤、⑧、⑨は累計値。

戦略テーマ関連計数

	目標値	実績
営業		
電子契約サービス利用率		
(一般貸出) 実績は6月単月	100%	69.4%
(ローン) 実績は6月単月	100%	98.7%
チャンネル		
アプリ利用者数 (口座登録者数)	30万人	18.6万人
人材		
ITパスポート取得者数	1,000人	1,096人
外部連携		
TSUBASAアライアンスの 収益効果	45億円	53.5億円
地域		
ストラクチャード ファイナンス残高	1,300億円	815億円
包括連携協定締結先への 提案件数	20件	27件
個人		
積立投資信託契約月額	25億円	18.8億円
グループ総合力		
キャッシュレス加盟店数	16,000店	13,517店
キャッシュレス取扱高(年間)	2,000億円	410億円

※目標値は中計終了までの累積値。

ただしキャッシュレス取扱高は単年度(2024年度)。

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意下さい。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社群馬銀行 総合企画部（IR担当）

TEL 027-254-7051・7053